

菊章授与にあたって

この度の娘乃々香の菊章授与に関しましては、指導者の方々始め、2団の皆様のご指導とお力添えによるものと、保護者として厚く感謝申し上げます。

また、伝達式にはたくさんの団関係者、並びに隊員の皆様にご参列いただき、「あんなにいっぱいの人に来てくれるなんて思わなかった！」と本人も大変嬉しく、感激しておりました。

「お外で元気いっぱい遊べる、心も体も丈夫な子になってほしい！」というささやかな思いで入隊させたのがきっかけでしたが、この度の受賞までの一連の面談の中で、乃々香は本当に大きく成長を遂げてくれたということに気づきました。

幼少の頃は怖がり、自分から前へ出ることをしませんでした。人のやりたがらない仕事をすすんで引き受け、活発に意見を出せる子になりました。

先輩スカウトたちのように自分も目標とされるよう、年下のスカウトたちの面倒もしっかりみるようになりました。

厳しい状況から逃げず、踏ん張れるど根性も培われました。

それもこれも、この2団の皆様が乃々香に与えてくれた強さと優しさと、感謝しております。

菊章面接の乃々香の言葉の一つ一つは、親として大変誇らしく、成長を感じた瞬間でした。

ああ、そんな風に考えていたのか、こんな風に考えられるようになったのかと、色々気付かされました。

灯台もと暗し！心の成長がこんなにもしっかりなされていたなんて…私がいちばん近くに居ながら、気づいていなかったかもしれません。

特に印象に残ったのは、「2団はあなたにとって、どのような団ですか？」の問いに、「2団は私にとって、家族のようなところ。小さい子からお母さんよりも年上の人もいて、兄弟のような年齢の仲間もいます。まるで世の中をギュッと小さくしたようなところで、家族みたいに感じています。」と答えたところでした。

家族と同じくらい親しく気の置けない仲間がいる居場所があるということは、乃々香にとってこれからも大きな財産となることでしょう！

本人は、これからもボーイスカウトをずっと続ける！と言っています。
大切な仲間や信頼の置ける指導者の方々に支えられ、活動がますます楽しく
なってきたのでしょうか。
これからも、親子共々、ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願いいたします。

伊藤美香